

第22回 関川流域委員会

保倉川放水路周辺まちづくり検討の 進め方について

令和4年3月

北陸地方整備局 高田河川国道事務所

- 懸念事項である「地域(町内)分断」と「家屋等移転」について、放水路の技術的な構造検討と並行して、流域住民の皆様の意見を聞きながら、関係機関が連携してまちづくり検討を進める。

①地域(町内)分断

- ◆移動距離の増大(町内会配布物の受け渡しや回覧、小中学校の通学路等)
- ◆コミュニティ活動への影響等

放水路ルートについて、「放水路計画を検討する際の留意点」に基づき検討した上で、分断感のない空間デザインや新たに創出される一体感のある地域づくり等を流域関係機関と連携しながら検討。

保倉川放水路の概略ルート決定後、新たに創出される良好な水辺空間を核とした一体感のある地域づくり、川づくりを流域住民の皆様とともに関係機関と連携して検討を進める。

②家屋等移転

- ◆放水路整備に伴う家屋等移転
- ◆神社仏閣等への影響

関係機関と連携しながら移転地等の検討。(コミュニティの確保)

保倉川放水路の概略ルート決定後、コミュニティ確保のための地区内移転等も含め、流域住民の皆様とともに上越市をはじめとした関係機関と連携して検討を進める。

「第21回関川流域委員会 資料-2」より

放水路整備に伴うまちづくりに係る課題

地域分断

- ◆ 渡河による移動距離の増大
- ◆ コミュニティ活動への影響等
- 分断感のないにぎわいを創出する、まちづくり・かわづくり

家屋等移転

- ◆ 放水路整備に伴う家屋等移転
- ◆ 神社仏閣等への影響
- 地区内移転を含めた検討

ハード面

考えられる対応(案)

ソフト面

- ① 橋梁配置や交流を目的とした人道橋等(通学路)
- ② 放水路沿川の河川公園の整備
- ③ 上下流を結ぶフットパス(河川交流遊歩道)など

- ① 地区内代替地の確保
- ② イベント・にぎわいの場の創出(地域自慢のビュースポット、放水路施設見学)
- ③ 水辺空間の利活用(水上競技や釣りなどの水面利用)

「水害に強いゆたかな地域づくり」を目指したまちづくり

放水路を軸として、水害から社会・環境・文化・生活を守り、将来にわたって地域の皆様が誇りを持てるまちづくりについて、周辺地域全体を対象として地域と一体となって考えていく

まちづくりの観点(案)

地域のコミュニティ形成

にぎわいの場の創出

防災まちづくり

- 放水路整備を契機としたまちづくりの観点(案)として、**地域のコミュニティ形成・にぎわいの場の創出・防災まちづくり**を挙げ、「水害に強いゆたかな地域づくり」を目指したまちづくり検討を周辺地域含めて地域と一体となって実施していく。
- まちづくりに関するシンポジウムを開催し、流域全体で水害に備える機運を醸成する。

地域のコミュニティ形成

放水路整備後も地域の
コミュニティの維持が可能なまちづくり

水害に強いゆたかな地域づくり

にぎわいの場の創出

新たな水辺空間による
にぎわいのあるまちづくり

防災まちづくり

流域全体で災害に備える
防災まちづくり

